

途上国持続可能な森林経営推進事業 [継続]

【平成28年度概算決定額 56(58)百万円】

対策のポイント

途上国において持続可能な森林経営を推進するため、未利用資源を活用した事業の可能性調査等を行い、森林保全が経済価値を創出する事業モデルを開発し、普及します。

<背景/課題>

- ・途上国の持続可能な森林経営は、気候変動の緩和、生物多様性の保全等に貢献するとともに、それらを通じて地域の安定的な生活と生産環境を支えています。
- ・我が国は世界有数の木材消費国として、途上国の持続可能な森林経営を支援していく必要があります。
- ・途上国では、森林の減少や劣化を抑制するために、森林を保全しつつ地域住民の生計向上を図る取組が進められていますが、新たな有用資源の発掘や需要の開拓、市場へのアクセスの確保、加工等を通じた付加価値向上などの取組みが十分でないことから、持続的かつ自立的な取組みとなっていない場合が多くあります。

政策目標

平成31年度末までに、途上国において森林保全が経済価値を創出する事業モデルを15件開発します。

<主な内容>

1. 途上国持続可能な森林経営推進事業

56(58)百万円

途上国において持続可能な森林経営を推進するため、樹木の種子や低質木材など未利用な森林資源を事業化の観点から整理した上で、需要開拓や加工流通を通じた森林の付加価値向上を図る事業の可能性調査を行い、森林保全が経済価値を創出する事業モデルを開発し、普及します。

補助率：定額

事業実施主体：民間団体等

事業実施期間：平成27年度～平成31年度

[お問い合わせ先：林野庁計画課 (03-3591-8449)]